

コナミ・デジQトレインに JR九州&西武、 初登場!

text : RMM/photo : 羽田 洋 (特記以外)
取材協力 : コナミ株式会社

デジQトレイン
通信-No.2

© 2003 KONAMI

国鉄時代の往年の車両をはじめ、
通好みの車両ラインナップで多くのファンを唸ら
せているコナミ・MICRO IRデジQトレイン。ます
ます充実してきたが、このたび第5弾車両編成セッ
トの顔ぶれが正式に発表された。今回はまさに現
代を代表する鉄道車両、JR九州の特急3種が登場!
さらに通常ラインナップとは別に、初の私
鉄車両となる西武鉄道10000系ニューレッドアロ
ーが忽然と姿をあらわした。縦横無尽に展開する
デジQトレインワールドの最新情報をお伝えする。

デジQトレインの第5弾車両の顔ぶれは787系つ
ばめ、883系ソニック、そして885系かもめ。いず
れも斬新なデザインで鉄道界の話題をさらったJR
九州の特急車両である。実は以前からイベント会
場などで試作品が展示されていたのだが、この
たびよいよ9月の発売が決まり、公式発表される
運びとなった。ご存じの通り今回の3種の車両はい
ずれもJR九州が企業イメージを託してデザインに
工夫を凝らした車両。それだけに今回デジQトレ
インとして製品化するにあたり、形状や色調につ
いてJR九州による全面的なチェックを受けている
という。そのかいあって、いずれの車両もあの特
徴あるフォルム、微妙な色合いをよく再現してい
ると思われる。発売までにさらに磨きをかけてと
うから楽しみだ。



西武鉄道商品化許諾済

◀西武・電車
フェスタ会場
に展示されて
いた試作サン
プル。10月の
発売が待ち遠
しい。

西武・電車フェスタで デジQトレインが大人気

去る5月31日・6月1日の2日間、西武鉄道武
蔵丘車輛検修場で開催された「西武・電車フェス
タ」会場では、昨年に引き続きコナミ・デジQト
レインも特設ブースを設け、電動ポイント体験コ
ーナーやタイムトライアルコースなどを設けて大
好評を博した。デジQトレインの高機能ぶりはや
はり「百聞は一見にしかず」で、実際に操作して
みて面白さに開眼した様子の来場者も多く、中
には「場所をとらないのがいい!」とズバリ本質を
つけた声も聞かれた。また展示された第5弾車両
編成セットやニューレッドアローのサンプルに見
入る熱心なファンの姿も多く見受けられた。多数
の来場者で賑わう会場内で、ひときわ熱気にあ
ふれたデジQトレインブースでありました。



◀デジQト
レインの特設ブ
ースでは、本
格的なレイ
アウトの展示や
電動ポイント
体験会など
が行なわれ
て人気とな
った。実際
に運転して
みることで
その楽し
さに開眼す
る来場者も
多かったよ
うだ。

▲885系かもめ。3次曲線を多用した複雑な流線型フォルムも的確に把握している。



▲787系つばめ。メタリックグレーの色合いもリアルだ。



▲883系ソニック。側面のさまざまな標記類がシャープに再現されているのも嬉しい。

JR九州承認済

さてもう1種、まさに忽然として姿をあらわした
のがデジQトレイン初の私鉄車両となる西武鉄道
10000系ニューレッドアローだ。折しも開催され
た「西武電車フェスタ」において鮮烈なデビュ
ーを飾り、来場者の注目を集めていた。通常ライ
ナップとは別に独自に開発を進められてきたとい
うが、開発担当者の意気込みが伝わってくるよ
うな迫真の出来となっている。今後西武鉄道の監修
作業を経て、本生産に取り組むとのこと。サン
プルでは車体下部に塗られたライトグレーが明る
すぎる印象があるが、この点もちろん修正され
ることだ。発売は10月、予価3,800円とアノウ
ンスされている。

車両ラインナップの幅も広がってきて、いよ
よ面白くなってきたデジQトレイン。周辺アイ
テムの充実も目覚ましい。というわけで、下のコ
ラムをどうぞ。

複線&高架レールも登場

電動ポイントレールに続いて、運転関係の強力
アイテム、複線レール&複線高架レールが登場。
前者は2つのレールが平行に並んだ形にモールド
されたプレートを順につないでいくだけで、複線
エンドレスができあがってしまうというすぐれも
ので、犬走りや防護柵、架線柱もまで再現されて
リアルな沿線風景を構築できる。また複線高架レ
ールはコンクリート防護壁にはさまれた形のプレ
ートに、ラーメンコンクリート構造を模した橋脚
を組み合わせて、複線の高架エンドレス簡単に組
み上がる。いずれも発売は8月の予定だ。



▲複線&複線高架レールで、デジQトレインの楽しさがまたま
たパワーアップ!(JR東日本商品化許諾済・JR西日本承認済)